

長崎県地学会
平成29年度研究発表会・総会
プログラム並びに議案書

日時：平成29年6月18日（日）
10時00分～16時20分
会場：長崎大学工学部1号館2階 1番講義室

長 崎 県 地 学 会

事務局 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14
長崎大学環境科学部 馬越研究室内
TEL 095-819-2766

平成29年度長崎県地学会 研究発表会・総会プログラム

総合司会（午前） 武内浩一

開会のあいさつ（10:00～10:05） 副会長 川原和博

研究発表（10:05～12:10） 座長 阪口和則・浦川孝弘

- ① 雲仙火山と島原城の石垣・・・・・・・・・・・・・・・・寺井邦久（県立島原高等学校）（10:05）
- ② 玄界島における福岡県西方沖地震災害復興の現状
・・・・・・・・・・・・・・・・山田好之助（藤永地建株）（10:30）
- ③ さいかい解明新書事業：化石からみる太古の西海市
・・・・・・・・・・・・・・・・森 浩嗣（西海市教育委員会）（10:55）
- ④ 松浦市から肥前町及び玄海町、呼子町における野島層群の分布—とくに鍵層とその特徴—
・・・・・・・・・・・・・・・・河野隆重（河野技術調査）（11:20）
- ⑤ 2016年台風10号の経路
・・・・・・・・・・・・・・・・平湯政敏（県立長崎西高等学校）（11:45）

昼食・昼休み（12:10～13:10）

総合司会（午後）

馬越孝道

平成 29 年度 総会（13:10～14:30）

総会議長（ ）

書記（ ）

議事

1. 会長あいさつ 清水 洋
2. 平成 2 8 年度会務報告 阪口和則
3. 平成 2 8 年度会員動向報告 阪口和則
4. 平成 2 8 年度会計報告 浦川孝弘
5. 平成 2 8 年度監査報告 山口和登
6. 平成 2 9 年度事業計画 阪口和則
7. 平成 2 9 年度予算案 浦川孝弘
8. 40 年、30、20 年会員表彰 清水 洋
9. 平成 29～31 年度理事会組織承認 阪口和則
10. 新旧会長挨拶
11. その他

休憩（14:30～14:45）

特別講演（14:45～16:15）

講師紹介 武内浩一

『天草の白亜系～上位・下位の地層との関係～』

> 天草市観光文化部ジオパーク推進室 鵜飼宏明 先生

閉会のことば（16:15～16:20）

副会長 武内浩一

懇親会（17：00～19：00）

【特別講演 講演要旨】

『天草の白亜系～上位・下位の地層との関係～』

天草市観光文化部ジオパーク推進室 鵜飼宏明

天草地域の白亜系は、天草上島の東海岸および天草下島の西海岸に分布します。地層区分として、下位より基盤岩とよばれる変成岩類（高浜変成岩類・肥後変成岩類）、御所浦層群、そして姫浦層群の3つに分けることができます。

白亜系の整合関係は、露頭では確認できないものの、天草東海岸ではそれぞれ不整合とされています。天草上島東海岸では、基盤岩を姫浦層群が不整合関係で覆う露頭を観察できます。天草西部は御所浦層群に相当する地層がなく、基盤岩と姫浦層群が分布し、断層関係とされています。

天草の白亜系は古第三系に不整合で覆われます。天草東部では姫浦層群が古第三系の陸成層である弥勒層群赤崎層に覆われる露頭がみられます。天草西部では姫浦層群を古第三系の海成層が覆うことが知られていますが、両者の接する露頭は知られていません。

天草の白亜系（基盤岩を除く）は、豊富に化石を産します。特に恐竜化石などはマスコミなどに注目され、話題となります。近年、長崎市でも三ツ瀬層より発見されるなど、九州各地に恐竜化石が見つかるようになりました。天草では、1997年に御所浦層群から恐竜化石が見つかり、現在の御所浦白亜紀資料館が建設されました。

発見された化石は、自然系博物館などで展示して見せるだけでなく、その化石から想像される古代の環境を、太古のロマンとして地域振興に活用しています。また、化石だけに限らず、地層、地形、特有の動植物、そしてそれに関わるその地域の文化など、大地に関係する地域の素材を、地域おこしに活用する取り組みである「ジオパーク」を目指す地域もあります。

講演では、天草の白亜系を主として、恐竜化石、天草の大地の遺産を活用した天草ジオパークの取り組み等についても紹介します。